

似島ホテルの里通信

vol. 10



も く じ

平成27年度二ノシマホテルを育てる里人の会活動報告	2～3
The 二ノシマホテル！	4～5
似島を知ろうコラム～二ノシマの歴史～	6
似島を知ろうコラム～似島の家庭の味～	6
二ノシマホテル観察会里人の声	7
にのしまっぶ	8

表紙写真提供：向江 菊枝 さん

発行：平成28年3月28日
発行者：南区魅力発見委員会
(二ノシマホテルを育てる里人の会)

〒734-8522 広島市南区皆実町一丁目5番44号
南区役所市民部地域起こし推進課
電話(082)250-8935 FAX(082)252-7179
E-mail mi-chiiki@city.hiroshima.lg.jp

ニノシマボタルを育てる里人の会の活動（平成27年度）

4月26日(日) ☀

田起こし

5月16日(土) ☀

田植え

5月30日(土)～31日(日)

☁→☂→☀

ヒメボタル観察会

麦の収穫

6月27日(土)～28日(日)

☀

ヘイケボタル観察会

麦茶づくり

7月19日(日) ☀

麦の脱穀

自然の家海の日オープンデー

8月23日(日) ☀

自主活動

9月27日(日) ☀

稲刈り

湯来・似島ふれあい祭

※10月6日脱穀

10月25日(日) ☀

麦種まき

収穫祭(バーベキュー)

11月22日(日) ☀

麦踏み

12月19日(土) ☀

麦踏み、樋補修

ホタル通信編集会議

忘年会

1月23日(土)

☁☂一部で☀

側溝整備、麦踏み

ホタル通信編集会議

似島米で新年会



里人の活動も10年を超えました



4/26 さあ～今年も似島米づくりだ！



5/16 初めての田植え体験の里人も・・・

5/30 カルガモ発見！



7/19 順調に育っています



8/23 穂がついた！



獲れたよ！



10/25 畑の収穫物、この後、麦種まき



11/22, 12/19 しっかり育ってね



似島米 6.2kg 収穫



9/27 今年も稲刈り終了、ニノシマボタルにとって住みよい水田(環境)になりますように！



4/26 麦が育ってる！



5/30 さあ麦の刈り取り！ホタルかご用に大事に収穫！



7/19 手作業で麦を脱穀、大変！



来年も頑張るぞ！

1 日目

9:20 広島港発

10:20 似島臨海少年自然の家着

オリエンテーション後、活動開始！

*ホタル池の周辺整備

麦を収穫



稲がしっかり育っています

*自然観察 (アースミュージアム元宇品)

*海辺の生物観察 (ひろしま生きた自然博物館)

(講師陣：畑さん、檜和田さん、石津さん、長代さん)



海の生き物たち



翌日用のしかけづくり

19:30 星座&ホタルの勉強会

(広島天文協会／石原さん) (里人／新枝さん)

21:00 ホタル観察

飛翔数 50 匹

2 日目

10:00 海辺の生物観察 (ひろしま生きた自然博物館／畑さん)



(表) (裏)

畑さん手作りパタパタ

12:00 にのしまランチ

メバルのそうめん・たこめし



13:00 反省会

バームクーヘンづくりに奮闘！

15:10 広島港着

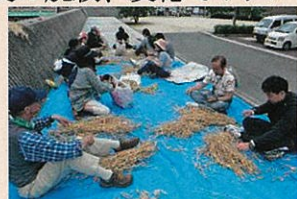


1 日目

14:00 広島港発、家下棧橋着

似島公民館でオリエンテーション

麦の脱穀、麦穂でホタルかごづくり



19:00 夕食

たこ料理が good



20:45 ホタル池でホタル観察

飛翔数 70 匹



22:00 公民館で情報交換会

2 日目

8:00 朝食



9:00 似島 (家下棧橋) 発

9:20 広島港着

麦茶づくり



*今年はちょっと早かったかな？

ホタル池の中に飛んでいないホタルがいたよ。

ニノシマボタルって?!

広島市南区の海に浮かぶ安芸の小富士・似島に
生息しているボタルにつけた名前が『ニノシマボタル』です。
平成13年、地元似島からボタルの保護の声が上がり調査開始。
平成16年、ニノシマボタルを育てる里人の会を結成し
数が減ってきたヘイケボタルが生息しやすい
環境づくりをはじめました。
平成22年にはヒメボタルが生息していることも確認できました。

The! ニノシマボタル!

ニノシマボタルを守りたい!

わたしたちはボタルを『持ち出さない。持ち込まない。』を合言葉に
ボタルが自然に命をつないでいけるよう取り組んでいます。



ヘイケボタルの幼虫は
水中でサカマキガイなど
を食べて成長します。
近年水田が減るなど、
環境の変化のため
生息地が減って
きているようです。

あわせて
ニノシマ
ボタル!



ヒメボタルは生涯陸上
で過ごします。幼虫は陸
生の貝(オカチョウジガイや
小さなカタツムリなど)を食
べます。メスの後ろ翅(パ
ネ)は退化しているの
で飛べません。森がなく
なるとヒメボタルは
生きていけないのです。



え〜っ?!

前号の訂正

似島ボタルの里通信 VOL.9 4ページ
左側・中段『ボタルの光る仕組み』の記事

下から6行目

× ボタルはサナギと卵の時期にだけ2色に光る...

○ ボタルはサナギの時期にだけ2色に光る...

ニノシマボタルの里ってこんな場所♪



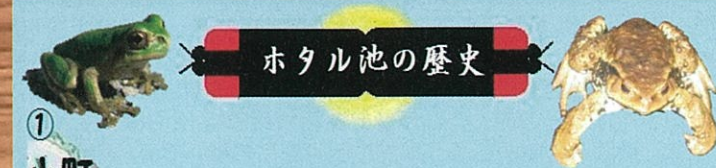
ヒメボタル 生息場所



ホタル池

ホタル池 (旧大町)

ヘイケボタル 生息場所



ボタル池の歴史

① 小町

① 今から50年前まで似島ではお米が作られていました。
わたしたちが現在 **ホタル池**と呼んでいる場所も
かつては**大町**と名付けられた
立派な田んぼだったそうです。(M氏談)

② 大町

※想像図

③ (旧小町) ↓(旧大町)

※想像図

④ (旧小町) ↓(旧大町)

※想像図

⑤ (旧小町) ↓(旧大町)

※想像図

⑥ (旧小町) ↓(旧大町)

※想像図

⑦ (旧小町) ↓(旧大町)

※想像図

⑧ (旧小町) ↓(旧大町)

※想像図

⑨ (旧小町) ↓(旧大町)

※想像図

⑩ (旧小町) ↓(旧大町)

※想像図

② その後、稲作が行われなくなると
落ち葉や土砂が堆積し、草木や竹が茂って
田んぼの面影はなくなりました。
それでもわずかに流れる山水を頼りにして
ヘイケボタルは細々と生き残りました。

③ 平成16年、**ニノシマボタルを
育てる里人の会**、活動開始!
うっそうと茂った草木や竹を伐採することから
環境整備を始まりました。
これまで紆余曲折がありましたが、
私たちはヘイケボタルが安心して生息できる環境づくりを続け
今では毎年初夏にたくさんのボタルが飛びかいます。

ホタル池になったかつての田んぼ**大町**に
現在、少しばかりお米を植えています。
かつての面影が感じられるかもしれませんね。

日本の自然は生命力に満ちあふれています。
草刈りなどの手入れを怠れば
すぐに草木や竹に覆われてしまいます。
ボタルが安心して生息できる環境を保つために、
ニノシマボタルを育てる里人の会は頑張っているのです!

似島とニノシマボタルの里の仲間たち



画像の縮小率は
まちまちです
ご了承ください

ようこそ似島へ

広島市が設置し運営する総合病院は広島市民病院、安佐市民病院及び舟入市民病院（以下舟入病院）があり、市民の健康を支えています。この内、昨年開設120周年を迎えた舟入病院は総合的な診療とともに夜間診療、小児救急等の医療を担っており、感染症（伝染病）にも対応する重要な拠点病院となっています。この病院の誕生にまつわる出来事と似島との関わりを紹介します。

明治27～28(1894～1895)年に日本国は当時の清国と朝鮮半島の権益をめぐる戦争（日清戦争：明治27、28年戦役）を行いました。講和(下関)条約締結後、主たる戦闘地域であった朝鮮半島等から日本の将兵たちを帰還させることになったが、当時の朝鮮半島ではコレラを主とする伝染病が蔓延しており、将兵たちの間でも感染者が続発し、そのまま日本に帰還させることにより国内でのパンデミー（爆発的大流行）を引き起こすことが予測され、その対応が喫緊の命題となった。事実、この戦争での戦病死者数は17,282名であったが、その内、コレラ等による病死者は11,890名に達して全死者数の68%を占める驚くべき状況であった。このことはある意味、清国との戦争と云う以前に伝染病との戦いであったともいえます。

その為、後藤新平の建白により陸軍省内に臨時陸軍検疫部を設置し、似島、彦島（下関）及び桜島（大阪）の三所に検疫所を建設した。この時の帰還将兵の検疫実績をみると、検疫人員の総数は23万2千名（内、似島13万7千名）、消毒人員の総数は15万8千名（内、似島11万2千名）、避（伝染）病院に収容した患者の総数は1,994名（内、似島1,260名）、また死者の総数は639名（内、似島382名）と記録されている。

似島陸軍検疫所には滅菌、消毒等の設備を構えた検疫施設【写真①】とともに擬似患者や真性患者を収容して治療する施設の避病院も設置された【図、写真②】。現在、この場所には弾薬庫の土塁の遺構が残っています。前述のとおり、似島検疫所で避病院に収容された患者数は1,260名に達しており、患者収容能力の限界に近くなったことから、明治28年7月に島外の広島市船入村（当時の表記）に似島避病院の船入分室を建設して士官（将校クラス）の患者を収容することとなった。その後は似島検疫所に帰還する将兵の患者数が減少したことと併せて、同時期の広島地方にコレラの大流行が起きたことから、その対応・対策として似島避病院船入分室を広島県に貸し渡すことで応急の便に供することになった。ちなみに、この年の消化器系伝染病患者数とその死者数をみると、広島市では1,567名の患者が発生し、1,302名が死亡(致死率83%)している。また、広島県全体では患者数3,938名、死者3,069名(致死率78%)との記録が残されている。この時のコレラ流行に対処するため、広島警察署内に広島西部検疫事務所を、京橋警察分署内に広島東部検疫事務所を設置して対処した。また、明治28年10月には臨時陸軍検疫部から移管（貸渡）された船入分室を広島市西病院としている。これらの歴史上の出来事をかんがみると、舟入病院の原点は日清戦争終結時に設置された臨時陸軍検疫部似島陸軍検疫所にあったともいえます。

近年ではSARS、ウエストナイル熱、新型インフルエンザ、エボラ出血熱等の新興・再興感染症が人類の新たな脅威となっており、舟入病院には今後、益々その役割が期待されるところです。

（注）写真タイトル及び出典

写真①：日清戦争終結直後の似島陸軍検疫所・蒸気消毒室における作業風景

〔臨時陸軍検疫部報告摘要 宮崎所蔵〕

写真②：検疫所内に設置されていた避（伝染）病院〔検疫所東側海上からの風景。左側の建物の内、手前・海側の建物は避病室。同奥側・山側の建物は快復室〕

〔臨時陸軍検疫部報告摘要 宮崎所蔵〕

右図：写真②の付図〔No.18は避病室。

No.19は快復室。No.23は火葬

場。No.24は汚物焼却場〕

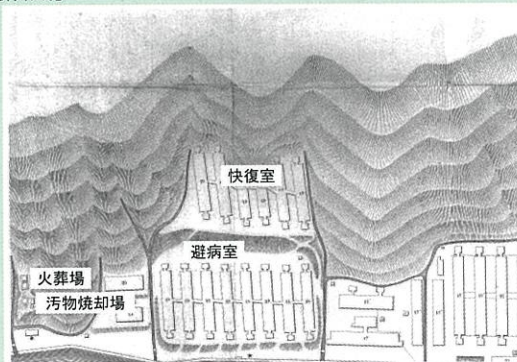
〔臨時陸軍検疫部報告摘要 宮崎所蔵〕

※参考とした文献資料等

- ・臨時陸軍検疫部報告摘要（1896）
- ・検疫制度百年史（1980）
- ・検疫制度100周年記念誌（1979）



写真①

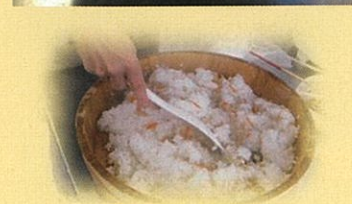


写真②

似島を知ろうコラム

似島の家庭の味～もぶりめし～

似島の家庭料理のもぶりめしはいろいろがとってもキレイな混ぜご飯です。おうちによって具材や味付けは多少異なりますが、醤油よりも塩をきかせたアッサリな味付けで飽きがこない美味しさです。今晚のご飯にいかがでしょうか。



材料

米	3合
ごぼう	1/2本
にんじん	1/2本
しいたけ	2個
小エビ	70g
みりん	小さじ1
酒	小さじ1
醤油	小さじ1
水	50cc

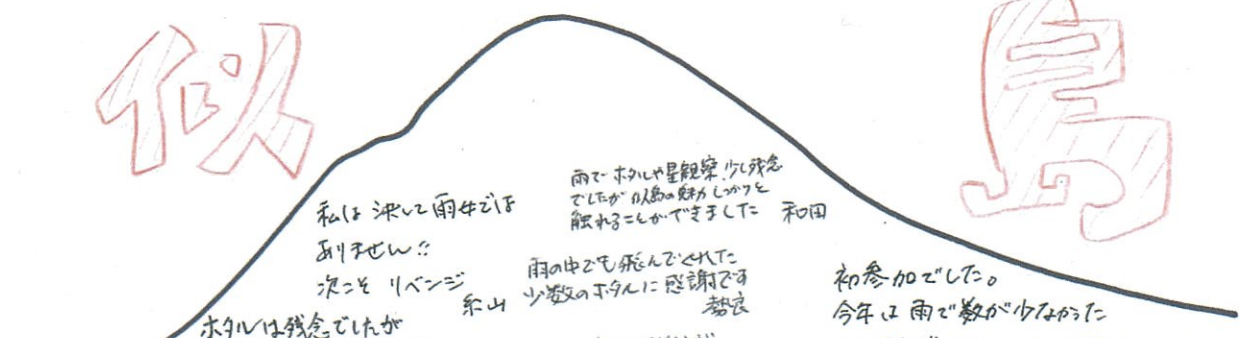
作り方

1. 米を洗い、いつも通りに炊く。
2. ごぼうはささがきに、にんじん、しいたけは1センチの千切りに切り、小エビは頭、殻、せわたを取る。
3. 「2」をAの調味料で火が通るまで煮る。
4. 炊けたご飯に「3」を彩りを見ながら入れて混ぜ合わせる。

※味が薄ければ塩を足して調節してください。

ニノシマボタル観察会里人の声

似
島



私は決して雨女では
ありません。
次こそ リベンジ
糸山

ボタルは残念でしたが
海の生物に会えて良かったです
カニタマシ〜 広田

雨女は、
もしかして 私??
来年は 月宵様
のように!
新井友

こんやの
主役

雨でボタルや星観察が残念
でしたが、お天気の良さを
感じることもできました。 和田

雨の中でも飛んでくれた
少数のボタルに感謝です
若菜

ボタルの汁なら、
草花や海の生き物など
いろいろ みることで
楽しかったです。 中西

初参加でした。
今年は雨で数が少なかった
ようですが、ボタルを初めて見ることで
できて良かったです。 岡田

初めて参加しました。西本
生命の懸命に生きている姿を感じました。

今年もボタルを
見ることができました。
来年も見たい!!
やまと

ニノシマボタル観察会

2015. 5.30~31

似島自然満喫しました。
今年も楽しかったです。
エビタ

今年もボタルに会えて
うれしかったです。(雨で少なかったけど)
来年はたくさんで迎えてくれ。
わたなべ

似島自然満喫しました。
今年も楽しかったです。
エビタ

今年もボタルに会えて
うれしかったです。(雨で少なかったけど)
来年はたくさんで迎えてくれ。
わたなべ

似島の良さを知ること
ができ、ありがとうございました。 K.K.

ニノシマボタル
初めて知りました
観察会に来て良かったです
宇野

感謝!!
ATAKA

「ボタルのふし」
作りと体験した
こと、日本人やエビ
に会えただけで
うれしい出来事でした。
めいめい

似島の自然に守られて、ニノシマボタルが
育っているんだと感じました。
ヒメに続き、ハイケも楽しみにしています。
満田

今日は
似島、人が
たくさん
タマシ

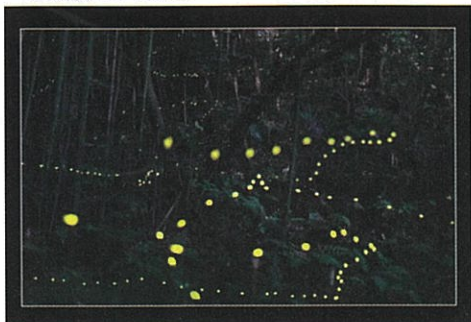
ニノシマボタル、皆さ
本当にありがとうございました。
久しぶりの出会い
大歓迎です。たくさん
会えたこと、ありがとうございました。
また来たい

ボタルに会えて感謝しました。
海辺の観察では、
イソカニタマシ
トゲモミジガイ
イシカニ など
たくさん生き物に会えました。
大田 久美

ボタル、似島、有難う。感謝カード

ボタルの姿を見ると、1年間の作業の
疲れが吹っ飛びます。 まさこ

表紙の写真



君待てど 鳴くは蛙(かわず)の 声ばかり

夜も更け、カエルがひとしきり鳴き抜いた後の一瞬の静寂。
竹やぶからひょろり、よろぼうようにヒメボタルが踊り出て来ました!

撮影者: 向江菊枝 撮影場所: 似島ボタル池の竹林

撮影日時: 2015/6/4/21:55

バルブ撮影 カメラ: Canon EOS 6D レンズ: EF 50mm F1.4
USMF1.4/126.6sec ISO: 1600 ホワイトバランス: オート
三脚、レリーズ使用(3枚比較明合成)



にのしまっぷ

協力隊が
ご案内



ホタル池へは、似島学園前で下船すると便利です。
※時刻については、変更となる場合がございますのでご注意ください。

乗下船場所

- ① 似島学園前棧橋
- ② 似島棧橋

施設等

- ③ 似島臨海少年自然の家
- ④ 似島合同庁舎
(似島公民館、似島出張所)
- ⑤ 「地域おこし協力隊」活動拠点

見どころ

- ⑥ 安芸小富士
- ⑦ 下高山
- ⑧ 「野生の鶏」生息地
- ⑨ 慰霊の広場
- ⑩ 島中心部の山道

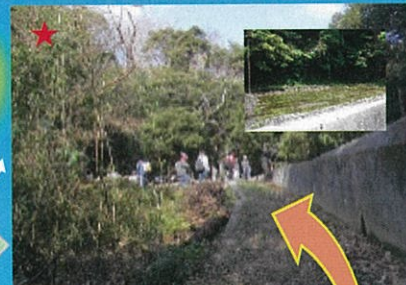
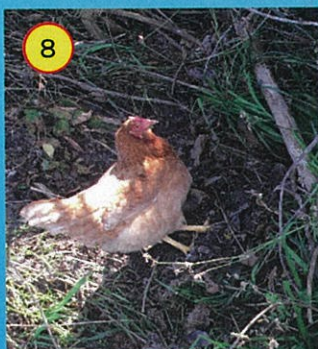
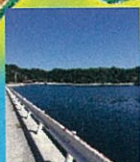
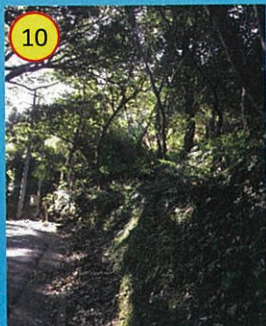
似島汽船時刻表

似島 棧橋発	似島学園前 棧橋発	広島港 棧橋着	広島港 棧橋発	似島学園前 棧橋発	似島 棧橋着
6:00	→	6:20	6:30	→	6:50
7:00	→	7:20	7:30	→	7:50
8:00	→	8:20	8:30	→	8:50
9:00	→	9:20	9:30	9:50	10:05
10:15	→	10:35	11:00	→	11:20
11:30	→	11:50	12:30	→	12:50
13:00	13:20	13:40	14:00	→	14:20
14:30	14:50	15:10	15:30	→	15:50
16:00	→	16:20	16:30	→	16:50
17:00	→	17:20	17:30	→	17:50
18:00	→	18:20	18:30	→	18:50
19:00	→	19:20	19:30	→	19:50
20:00	→	20:20	20:30	→	20:50

⑤にてレンタサイクルあります。
※祝日・年末年始はお休みです。
その他の活動で不在のことがあります。
その際は、平日は出張所、
土日は公民館へお越しください。



私達が似島の地域おこし協力隊です！



会員募集中！

ニノシマボタルを育てる里人の会

「持ち出さない、持ち込まない」を活動のモットーに、似島に生息するホタルの育つ環境整備をしています。会費は不要です。
ただし、交通費等の実費は自己負担となります。

☆お申込み・お問い合わせ先

〒734-8522 広島市南区皆実町1-5-44

広島市南区役所市民部地域起こし推進課 「ニノシマボタルを育てる里人の会」事務局

電話(082)250-8935 FAX(082)252-7179 E-mail:mi-chiiki@city.hiroshima.lg.jp

